

## バイオサイエンス学科 学会発表

【発表者について】アンダーラインは本学教員、研究員および技術職員、○は発表者、※は大学院生、卒研生または卒業生

学会名	第13回日本ナス科コンソーシアム年会 (JSOL2016)
演題名	Effects of cotyledon removal on the endogenous phytohormone levels in hypocotyls of tomato young seedlings.
発表者	○Ryo Aoki※, <u>Emi Yumoto</u> , Yuho Tsunekawa※, Naoki Kubo※, Erina Suzuki※, Mizuho Takahashi※, Taito Morikawa※, <u>Kyomi Shibata</u> , Takao Yokota, Hisakazu Yamane, Masashi Asahina. (植物生理学研究室)
内容	これまでのトマトやキュウリを用いた研究から、切断を行った胚軸の組織癒合には子葉で生産されたジベレリン、および根からの微量元素が必要であることが報告されている(Asahina et al. 2002, 2006, 2007)。しかし、現時点では植物ホルモン(ジベレリンなど)の合成が子葉で行われ胚軸へと移動していることを示す証拠は、得ることが出来ていない。本発表では、植物ホルモンの長距離間シグナル伝達機構、組織・器官間での輸送についての研究成果を報告した。以上の研究は、私立大学戦略的研究基盤形成支援事業、科学研究費補助金(若手B)による支援を受けて行ったものである。
関連画像	 <p>ポスター発表の様子</p>